

# ご意見・ご質問への回答一覧表【女性ミーティング】

令和元年10月3日  
9:30～11:00  
市役所4階 大会議室

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
①	田窪はスマートICや工業団地が造成されるため、車両や人が増えると考えられる。通学路の安全確保や街灯、押しボタン式の信号機の設置など、子どもの安全確保をしていただきたい。	対応済	<p>ご要望いただいた内容については、本年7月開催の田窪区タウンミーティングでも多くのご意見をいただいております。周辺の皆様のご迷惑にならないよう、交通安全に配慮しながら、令和5年度末の完成に向けて事業を進めているところです。</p> <p>また、県道森松重信線の渋滞についてもご意見等を伺っており、その緩和策についても検討しながら、よりよい交通安全に配慮して事業を進めたいと考えています。</p>	建設課 (089-964-4472)
		検討中	<p>通学路については、学校や警察、道路管理者等の関係機関と連携を図りながら、順次、安全対策を行っています。</p> <p>田窪の通学路においては、可能な箇所から対策の検討を行っており、今後も引き続き安全点検等を実施することで、子どもの安全確保に取り組んでいきます。</p>	学校教育課 (089-964-4420)
②	保育士の先生の入替わりが多く、バタバタしていると感じる時期があった。労働環境を充実させ、子どもの保育の充実を図ってほしい。	検討中	<p>保育士、幼稚園教諭の労働環境改善にむけて、現在検討を進めているところです。特に残業や持ち帰りの削減をすることで、働きやすい職場にしていきたいと考えています。職場環境を改善することで、保育の充実を図ることができると考えます。</p>	保育幼稚園課 (089-964-4484)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
③	市の児童館などで子どもに対する事業は充実していると感じるが、子育て中または産後のお母さんを対象としたイベントや体を動かす機会があまりないと感じている。市からも何か発信や提案をしていただきたい。	一部対応済	各児童館において、産後や子育て中の方を対象とした体を動かす事業は実施していますが、今後、内容や回数について検討したいと思います。また、地域子育て支援センターにおいても同様の取組ができないか検討していきたいと考えています。	保育幼稚園課 (089-964-4484)
		検討中	<p>母子の健診や育児教室や相談活動等を通して、サポートが必要なご家庭の支援を行っています。母子の健康や子育てに関する「不安」や「問題」を取り除き、健康的に生活できるようにしようとするものです。</p> <p>業務の主眼が、健康や子育ての不安等の除去にありますので、「健診」や「教室」、「相談」が主なサービスになり、不安等のないご家庭や支援不要のご家庭へのサービス(イベント等の開催)は、これまで手薄になっています。</p> <p>また、産後のお母さんの鬱等への対応は、全国的にも見直しがされてきており、東温市でも支援の強化に取り組んでいます。</p> <p>子育てに関係する行政機関は東温市にも数箇所あり、それぞれが行っている広範囲な業務をワンストップ化することは困難ですので、支援を行う際には関係機関が連携して実施しています。今後も、関係機関がそれぞれ行っているサービスを情報共有し、市民の皆さまに最適な情報を提供していけるよう連携を強めていきたいと思ひます。また、こうした貴重なご意見も共有し、より充実したサービスになるよう関係機関で検討していきたいと思ひます。</p>	健康推進課 (089-966-2191)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
④	一時預かりが始まり、子育てをしなが ら仕事ができそうだと感じるようにな ったが、市で窓口になっていただき、市 内の働き口を教えて頂けると、仕事を しやすいと感じる。	一部対応済	法律により、市では、職業紹介(幹 旋等)はできませんが、ハローワー ク松山の「求人情報」について、「市 ホームページ(トップ⇒くらしの便利 帳⇒くらしの便利帳(テーマ別)⇒住 まいとくらし⇒労政関係)」に掲載 し、約1週間毎に更新しています。ま た、同じものを産業創出課窓口でも 掲示していますので、お気軽にお声 かけください。	産業創出課 (089-964-4414)
⑤	上林、西谷、東谷の保育所、幼稚園に 通う園児が増えて欲しいので、空き家 を活用した移住者を探したり、通って もらえる環境を整えて欲しい。	対応済	空き家を活用した制度として、市で は平成27年度に空き家バンク制度 を創設しました。これは、空き家の 売却・賃貸等を希望する方から空き 家の情報を提供していただき、空き 家バンクへ登録した情報を、市ホーム ページ等に掲載することにより、 東温市への移住・定住を促進し、空 き家の有効活用を図るもので、市は 「物件所有者」と「利用希望者」の ニーズのマッチングを行っていま す。また、契約が成立した場合、空 き家を改修する費用についても支援 を行っています。制度を活用して中 山間地域に移住されている方も多く いますので、引き続きこの制度の周 知を行っていきたいと考えていま す。 また、奥松瀬川、河之内、井内、 滑川の中山間4地区では地域運営 組織が立ち上がっており、その支援 のために地域おこし協力隊が各地 域に配属され、地域の魅力発信等、 移住を検討されている方へのPRに 取り組んでいます。	企画政策課 (089-964-4473)
		対応済	開発部局では、少子高齢化対策と して住宅団地の建設を行ってきました。 しかしながら、住んでいた子ども は成長すると生活の利便性の良い 地域に流出してしまう傾向にありま す。地域の方からは、交通機関や 道路など生活環境が不便であること は否めず、子どもには勤務先が遠 ければ便利なところへ出てもらった 方がよいとのご意見もありました。 現在、市内での雇用を創出すべく工 業団地整備事業を進めています が、今後も若い世代が地域に残れ るような手法を取り、地域が持続で きる取組が必要であると考えていま す。	都市整備課 (089-964-4412)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
⑥	小学校の校区外就学について、乗り合いバスのような制度があると、児童の数も増えるのではないか。	検討中	平成29年度の制度開始以降、小規模校への校区外就学については情報発信を行っています。今年9月に市広報及びHPにて、校区外就学に係る学校見学会実施の案内を行い、10月に学校見学会を実施したところ、令和元年11月現在で、来年度は上林小学校2名、東谷小学校3名、西谷小学校3名の制度利用が見込まれる程の反響がありました。現在制度を利用されている方及び今後制度利用の要望がある方々のご意見等を参考とさせていただきながら、継続して調査・検討を行っていきたいと考えています。	学校教育課 (089-964-4420)
⑦	フリースクールが不足しているが、小規模校が代わりの受け皿となる可能性があると考え。子どもの救済の場として、人数が将来的に増えてくるようであれば、検討いただきたい。	検討中	特色ある学校づくりをより一層推進し、各学校の魅力を広くPRすることで、小規模校への校区外就学制度利用者の増加に繋げていきたいと考えています。	学校教育課 (089-964-4420)
⑧	市内に夜間や休日の小児救急センターのようなものがあれば助かるが、検討してもらえないか。	対応困難	近年、小児科医の不足が深刻化しており、夜間や休日の小児科診療は、中予地区のどの市町も単独では運営できない状況であるため、中予地区全体で集約化して取り組んでいます。中予地区では3市3町の関係者で協議して、「松山市急患医療センター」と「松山市医師会休日診療所」を共同で運営しています。診療には、中予地区内の開業医や執務医、愛大医学部附属病院の小児科医が、交代で当たっています。小児科医不足の問題は、残念ながらすぐに解消できそうにはなく、現状を維持するのにも苦心している状況ですので、ご理解下さいますようお願いいたします。	健康推進課 (089-966-2191)
⑨	病児、病後児の保育について更に充実させてもらえれば、有事にも安心して働けるのではないか。	対応済	病児・病後児保育施設は現在、東温市以外では松山市の施設も利用可能となっておりますので、是非ご利用ください。	保育幼稚園課 (089-964-4484)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
⑩	さくらの湯にもプールがあるが、より規模が大きい市営プールができれば良いと思う。検討していただけないか。	対応困難	<p>コストが多くかかる施設の建設には、それに見合った収入(来場者)が将来的にも見込めなければ財政状況を圧迫させることとなります。近隣(松山市・伊予市)には、既に大規模なレジャープールがあり、本市にプールができたとしても、利用者が将来的にも見込めるか不透明であると考えます。</p> <p>しかしながら、プールに親しむ機会を身近な所で増やして欲しいというご意見はよく分かります。新しい施設を作ることは困難ですが、現存する「さくらの湯」等をいかに活用するかについて、話し合う機会を作っていくことが重要であると考えます。</p>	生涯学習課 (089-964-1500)
⑪	子どもが重信幼稚園に通園しているが、近年は園児の数が減少していると感じる。市は園児数の減少に対し、どのような取組をしていくのか。	検討中	重信幼稚園に限らず、幼稚園の園児数が全体的に減少傾向にあることは認識しており、市全体における保育需要や保護者ニーズも踏まえて、認定こども園への移行なども検討しているところです。	保育幼稚園課 (089-964-4484)
⑫	保育士や幼稚園教諭の業務量が多いと感じるが、保育士や支援員の数を増やすことで解消できないか。	一部対応済	保育士、幼稚園教諭については、大学や短大等への働き掛けも含め、継続した人材確保に努めているところですが、あわせて保育支援システムの導入など、少しでも現場職員の事務負担の軽減を図り、余裕を持って子どもの保育に専念することができるような環境整備に取り組んでいきたいと考えています。	保育幼稚園課 (089-964-4484)

※タウンミーティングでのご意見等のうち、特定の個人または団体等の誹謗、中傷、営利に関わる内容や市政に関係のない内容については、掲載していません。